

Aidemy Business 利用規約

第1条（定義）

本規約における各用語の定義は、別段の定めがない場合は以下の通りとします。

- (1) 「当社」とは、Aidemy Business を提供する株式会社アイデミーを指します。
- (2) 「ユーザー」とは、当社または当社認定の代理店から自己利用の目的で商品を買受け、また自ら使用する者を指します。
- (3) 「エンドユーザー」とは、ユーザーの従業員であり、かつ、ユーザーの指示により本サービスの使用者となる者を指します。
- (4) 「本サービス」とは、Aidemy Business およびこれに付帯するサービスを総称して指します。
- (5) 「本サービスの利用契約」とは、ユーザーが当社認定の販売代理店に対し申込書を提出することにより本サービスの利用を申込み、当該販売代理店がこれを承諾することにより成立する契約を指します。

第2条（適用）

本規約は、ユーザーと当社との間の本サービスの利用に関わる一切の關係に適用されるものとします。

第3条（利用登録）

登録希望者が当社の定める方法によって利用登録を申請し、当社がこれを承認することによって、利用登録が完了するものとします。

当社は、利用登録の申請者に以下の事由があると判断した場合、利用登録の申請を承認しないことがあり、その理由については一切の開示義務を負わないものとします。

- (1) 利用登録の申請に際して虚偽の事項を届け出た場合
- (2) 本規約に違反したことがある者からの申請である場合
- (3) その他、当社が利用登録を相当でないと判断した場合

第4条（Aidemy Business の内容等）

1. 当社は、ユーザーに対し、当社がインターネット回線を通じて提供する本サービスを使用することを許諾しサービスを提供するものとします。
2. 本規約の内容とアイデミーが公式ウェブサイト上で公表する利用規約の内容に矛盾抵触がある場合、本規約の定めが優先するものとします。

第5条（サービス料金および支払方法）

1. ユーザーは、本サービス利用の対価として、当社認定の代理店に対し申込書記載のサービス料金（申込書記載の利用料およびこれらにかかる消費税相当額を意味し、以下「サービ

ス料金」という)を支払います。

2. サービス料金の支払条件および支払方法は、当社または当社認定の代理店からの請求により申込書に定める期日までに当社認定の販売代理店が定める方法で支払うものとします。

第6条（キャンセル・ポリシー）

1. 本サービス利用開始日以前のキャンセルについて

ユーザーが本サービス利用開始予定日の 10 営業日前までに、当社認定の販売代理店に対し本サービス利用契約のキャンセルを申し出、かつ、これが当該販売代理店に到達した場合に限り、第5条に定める本サービスの利用料金の支払義務を免れるものとします。

2. 本サービスの解約について

ユーザーは、前項に定めるキャンセル可能期間以降、本サービスの解約をもって本サービス利用料金の支払いを免れ、もしくは本サービス利用料金の返金を受けることはできません。

第7条（担当窓口）

本サービスの利用に関する連絡、通知および協議等に関する担当者および宛先は、申込書に記載の通りとします。ユーザーは、届出済みの担当者に変更が生じた場合には、速やかに当該変更内容を当社認定の代理店に対して書面（電子的文書を含む。以下同じ。）で通知します。

第8条（ユーザID、パスワードの取り扱い）

1. ユーザーは、本サービスを利用するために当社が発行するユーザ ID およびパスワードを適正に管理する責任を負います。

2. ユーザーは、ユーザ ID およびパスワードを、ユーザーが正当に権限を与えたエンドユーザーのみに利用させるものとし、ユーザID およびパスワードを第三者に提供、または本サービスのアカウントを第三者に対して貸与、譲渡または名義変更その他の処分を行わないものとします。

3. ユーザーは、エンドユーザー1名あたり1つのユーザ ID およびパスワードを使用させるものとし、ユーザ ID として登録するメールアドレスには、複数名が利用できるメールアドレスを使用してはならないものとします。

4. ユーザ ID の使用および管理について一切の責任はユーザーが負うものとし、当社は、ユーザIDが第三者により利用または盗用されること及びその結果について一切の責任を負わないものとします。

第9条（ユーザーの義務）

1. ユーザーは、所定のサービス開始日までに、ユーザーが本サービスを利用するために必要となる設備の準備および環境設定を行うこととします。なお、当該環境設定に要する費用は、ユーザーの負担とします。

2. ユーザーが本サービスにアクセスするために要する電気料金、通信回線に係る料金その他の

費用は、ユーザーの負担とします。

3. ユーザーは、本サービスの利用契約および本規約に基づく権利の全部もしくは一部を第三者に譲渡し、担保に供しもしくはその他の処分をし、または債務の全部もしくは一部を第三者に履行させてはならないものとします。

第10条（禁止事項）

1. ユーザーは、本サービスの利用に際して次の各号に該当する禁止行為を行わず、且つ、自己のエンドユーザーによる禁止行為を管理するものとします。

（1）法令もしくは公序良俗に反し、または反するおそれのある目的または方法で利用すること

（2）当社もしくは第三者の著作権その他の知的財産権を侵害し、または侵害するおそれのある目的または方法で利用すること

（3）当社もしくは第三者の財産、プライバシーを侵害し、または侵害するおそれのある目的または方法で利用すること

（4）当社もしくは第三者を差別もしくは中傷し、もしくはその名誉もしくは信用を毀損し、または毀損等のおそれのある目的または方法で利用すること

（5）当社もしくは第三者の電気通信回線およびこれに付帯する設備に障害もしくは支障を与え、または与えるおそれのある目的または方法で利用すること

（6）第三者に関する個人情報等を収集または蓄積する行為

（7）第三者にサービスを利用させること（ユーザーが本サービスを利用して、第三者に他のサービスを提供する行為を含みます）

（8）当社のサービスに関連して、反社会的勢力に対して直接または間接に利益を供与する行為

2. 本サービスの利用に当たり、ユーザーに前項各号のいずれかに該当する行為があったと当社が判断した場合、当社は、ユーザーに何ら通知することなく、本サービスへのアクセス停止 またはユーザーデータの削除その他必要な措置を講ずることができるものとします。なお、本項に基づく本サービスの停止に関し、当社は一切の責任を負わないものとし、ユーザーは当社に対して何らの責任追及を行わないものとします。

第11条（本サービス内の著作物の著作権）

本サービスに含まれる著作物の著作権は、すべて当社または当社に利用許諾する第三者に帰属するものであり、ユーザーは、これを本サービスの利用契約に基づいたエンドユーザーによる本サービスの受講の目的にのみ使用できるものとします。

第12条（再委託）

当社は本サービスの一部を第三者に委託することができるものとします。なお、当社は、当該委託に際し、当該再委託先による本サービスの一部の履行について、当社が履行した場合と同様の責任を負うものとします。

第13条（本サービスの停止）

1. 当社は、次の各号のいずれかに該当する場合、事前にユーザーに通知することにより、本サービスにかかるサービスの全部または一部を一時的に停止することができます。ただし、緊急事態が発生した場合には事前の通知なくサービスを停止する場合があります、この場合、当社は事後にその旨をユーザーに報告するものとします。

（1）本サービスのシステム の更新、保守、障害の対策等のため一時的なアクセスの遮断が必要となる場合

（2）本サービスの提供に必要となるサーバー、通信設備等について、保守、工事、障害の対策等が必要となる場合

（3）電気通信事業者が電気通信役務の提供を一時的に中止する場合（第2項に掲げる非常事態に該当する場合を除きます）

（4）その他、緊急事態への対応として、当社が必要と認めた場合

2. 天災、地変その他の非常事態が発生し、または発生するおそれがあるときは、災害の予防もしくはは救援、交通もしくは電力の供給の確保または秩序の維持に必要な事項を内容とする通信、または公共の利益のため緊急に行うことを要する通信を優先的に取り扱うため、当社がAidemy Business の提供を制限、もしくは中止する措置を取ることがあります。ユーザーは、当該非常事態による利用の制限について、あらかじめ了承するものとします。

3. 第1項の規定に基づく本サービスの停止が行われた場合、所定の本サービス利用期間を、サービス提供の停止した日数に応じて、延長するものとします。ここで「サービス提供の停止」とは、第1項に掲げる原因により本サービスの提供が平日9：00～19：00の範囲で3時間を超えて継続的に停止することをいいます。

4. 当社は、ユーザーについて次の各号のいずれかに該当する事由がある場合、事前のユーザーへの書面通知により、本サービスの全部を停止することができるものとします。なお、本項に基づく本サービスの停止に関し、当社は一切の責任を負わないものとし、ユーザーは当社に対して何らの責任追及を行わないものとします。

（1）支払期日を超えても所定の利用料金が支払われない場合

（2）本サービスの利用申込をするにあたり、虚偽の申告があったことが判明した場合

（3）本規約に対する重大な違反があった場合

第14条（本サービスの廃止）

1. 当社は、本サービスの全部または一部を廃止する場合には、当該廃止の期日の3か月前までに、ユーザーに対して通知を行います。当該通知は、所定の連絡先への発信によりその効力が生ずるものとし、通知がユーザーに到達せず、またはユーザーが当該通知を確認しなかった場合でもその効力には影響がないものとします。

2. 当社が予期し得ない事由または法令、天災などのやむを得ない事由によりサービスを廃止する場合において、相当の猶予期間をもった事前通知が不能である場合、当社は、サービス廃止の判断を行った後すみやかにユーザーに対してこれを通知します。

3. 本条に基づきサービスが廃止された場合、当該廃止の日に本サービスの利用契約は終了します。本サービスの廃止により、本契約が本来の期限前に終了することとなる場合は、本サービスの提供が短縮された期間に応じて利用料金を返金します。

第15条（規約変更）

当社は本規約の変更が必要と判断した場合には、可能な場合は事前に、不可能な場合は変更後速やかにユーザーに通知を行うものとする。（通知の方法は本サービスの管理画面に変更する旨の表示を行うことで足りるものとする。）ただし、軽微な修正に限りユーザーに通知することなくいつでも本規約を変更することができるものとします。

第16条（本サービス利用解除）

1. ユーザー及び当社は、相手方が次の各号に定める事由のいずれかに該当する場合、催告その他何らの手続きを要せず、相手方に対する通知のみにより本サービスの利用契約の全部または一部を解除することができるものとします。なお、この場合、被解除者は、当該解除により生じた自己の損害について、解除権の行使者に対し何らの責任追及をしてはならないものとします。

（1）仮差押え、差押え、競売の申請、または破産、特別清算、再生手続開始、会社更生手続開始の申立があった場合、もしくは租税公課を滞納して強制執行、保全差押えを受けた場合

（2）営業を休止または廃止した場合

（3）支払を停止した場合、または手形交換所の取引停止処分等を受けた場合

（4）解散の決議を行なった場合

（5）本規約および本サービスの利用契約に違反し、あるいは債務不履行が発生し、一定の是正期間を経てもない是正されない場合

（6）第17条各号のいずれかに違反した場合

2. 前項に基づき本サービスの利用契約を解除した当事者は、相手方に対し、当該解除に伴って生じた損害の賠償を請求することができるものとします。ただし、本項に基づく賠償責任は、本契約に基づき現に支払われたサービス料金の総額を上限とします。

第17条（反社会的勢力の排除）

ユーザーは、次の各号の事項を表明し、保証します。なお、次の各号のいずれかに違反することを発見した場合、直ちに相手方へその事実を報告するものとします。

（1）自らが「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」に定義する暴力団およびその関係団体その他の反社会的団体または勢力（以下「反社会的勢力」という）でないこと

（2）自らが反社会的勢力でなかったこと

（3）反社会的勢力を利用しないこと、およびこれに準ずる行為を行わないこと

（4）反社会的勢力に資金提供を行わないこと、およびこれに準ずる行為を行わないこと

（5）反社会的勢力を名乗るなどして当社の名誉・信用を毀損しもしくは業務の妨害を行い、

または不当要求行為をなさないこと、およびこれらに準ずる行為を行わないこと

(6) 自らまたはエンドユーザーが反社会的勢力の構成員でないこと。

第 18 条（公表および商標の利用）

1. 当社は、ユーザーが本サービスを利用している事実を公表したい場合には、ユーザーと協議の上決定するものとします。
2. 前項にかかげる事項のほか、当社が本サービス利用に関するプレス・リリースまたはその他の発表を希望する場合、当社は、かかるプレス・リリースまたは発表につき、ユーザーの事前の書面による承諾を得るものとします。

第 19 条（免責および損害賠償額の制限）

1. 本サービスは現状有姿で提供されるサービスであり、当社は、本サービスの内容がユーザーの目的に合致すること、またはユーザーにおける学習の成果について保証するものではありません。
2. 当社は、本サービスの利用に関連してユーザーまたは第三者に生じた間接的損害、付随的損害、逸失利益等につき、それらの予見または予見可能性の有無にかかわらず一切の責任を負いません。ただし、当該損害が当社の故意または重過失に基づいて生じた場合はこの限りではありません。
3. 本サービスの利用に関連して当社が賠償責任を負う場合においても、当該賠償額は、いかなる原因に基づくかにかかわらず、本サービスの利用契約および本規約に基づき現に支払われた、過去 12 ヶ月間のサービス料金の総額を上限とします。

第 20 条（権利義務の譲渡の禁止）

ユーザーは、当社の書面による事前の承諾なく、本サービスの利用契約および本規約上の地位または本規約に基づく権利もしくは義務を第三者に譲渡し、または担保に供することはできません。

第 21 条（利用期間）

本サービスの利用期間は、申込書記載のとおりとします。ただし、本規約第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 20 条、第 21 条及び第 22 条の定めは、本サービス利用終了後も有効に存続するものとします。

第 22 条（本サービス終了時の処置）

本サービス終了後は、当社は、ユーザーに関するデータを保持する義務を負わないものとします。

第23条（準拠法および管轄裁判所）

本規約の解釈にあたっては、日本法を準拠法とします。

本サービスに関して紛争が生じた場合には、当社の本店所在地を管轄する簡易裁判所または地方裁判所を専属的合意管轄とします。

第24条（協議）

本サービスの利用契約および本規約の履行あるいは解釈について疑義を生じた場合または本規約に定めのない事項については、ユーザーならびに当社双方で協議し、円満に解決を図るものとしします。

【特記事項】

第1条（国内利用と国外利用について）

本サービスの利用契約は、ユーザーが、エンドユーザーに、日本国内から本サービスを受講させることができるものであり、国外利用オプションの申し込みにより、国外から本サービスを受講させる場合には、事前にユーザーおよび当社間で必要な事項について別途覚書を締結するものとしします。

第2条（グループシェアプランの利用について）

1. グループシェアプランの申込みにより、本規約第1条第1項第3号および第10条第1項第4号の規定にかかわらず、ユーザーは、本サービスの利用契約時の申込書に記載の関連会社、もしくは、ユーザーおよび当社間で別途合意した関連会社（本サービス利用契約時の申込書に記載の関連会社と併せて、以下単に「関連会社」という）の役員および従業員にユーザID およびパスワードを使用させることができるものとしします。なお、本項に基づきユーザーがユーザID およびパスワードを使用させた者を本規約第1条第3項で定義する「ユーザ」に含めるものとしします。

2. ユーザーが関連会社の役員および従業員にユーザID およびパスワードを使用させるにあたっては、ユーザーの責任において、当該関連会社の役員および従業員に本約款に基づく義務を履行させるものとしします。

3. ユーザーが関連会社の役員および従業員にユーザID およびパスワードを使用させるにあたっては、ユーザー、関連会社各社ならびに関連会社各社の役員および従業員の間で生じたトラブルおよびこれに起因する損害賠償については、当社は一切の責任を負うものではなく、ユーザーの責任において解決するものとしします。

第3条（管理者権限、所属別管理者権限の第三者への付与時の責任）

1. 本条における各用語の定義は、以下の通りとしします。

(1) 「管理者権限」とは、ユーザーが利用できる、エンドユーザーの登録および登録されたすべてのエンドユーザーの受講状況の情報の閲覧等を本サービス上で行うことができる権限を指します。

(2) 「所属別管理者権限」とは、グループシェアプランをお申込みのユーザーのみが利用できる、本サービスの管理者権限のカスケード機能を持つ権限であり、管理者が本サービス上で設定した範囲のエンドユーザーの受講状況の情報を本サービス上で閲覧できる権

限を指します。

2. ユーザーは、本サービスの利用にあたり、管理者権限および所属別管理者権限を第三者（グループシェアプランの利用に基づきユーザーが本サービスを利用させる関連会社もこの第三者に含まれるものとします）に付与する場合は、エンドユーザーの受講回数や成績等の個人情報をユーザーから当該第三者に開示することになるため、事前に必要な個人情報保護法上の対応を取るものとします。

3. 第1項における所属別管理者権限についてのユーザーの義務は、本サービスの利用契約にグループシェアプランが含まれる場合にのみ適用されるものとします。

第4条（プロフェッショナルライセンスの利用について）

プロフェッショナルライセンスについては、当該ライセンスを利用中のエンドユーザーが退職または休職した場合を除き、本サービスの利用契約期間中にエンドユーザーの入れ替えを行ってはならないものとします。

第5条（本サービスのMy Aide機能について）

1. 本サービス内で利用可能な機能「My Aide」（以下「My Aide」といいます）は、Open AI社のサービス「Chat GPT」（以下「Open AI社サービス」といいます）を利用したパーソナルAI アシスタント機能であり、ユーザーが本サービスの利用契約時、もしくは別途当社に対しMy Aideの利用意思を表明することで利用することができるものです。

2. ユーザーは、My Aide利用の際は、個人情報およびユーザーの秘密情報を入力してはならないものとし、エンドユーザーにもこれを入力させてはならないものとします。なお、ユーザーおよびエンドユーザーがMy Aideに入力した情報（以下「入力情報」といいます）は、Open AI社サービス上に30日間程度の期間中のみ保存されますが、Open AI社サービスに入力情報を学習させるものではありません。

以上

附則

「Aidemy Business 利用規約」は、2025年10月14日から実施する。